

一ノ瀬に駐車場を許すな！

★2月10日、群馬県予算委員会において一ノ瀬に大駐車場（一万平方米、四百台収用）を計画、千三百万円の予算計上を秘密裡に決定したとの情報が入った。昨年暮に、岩清水まで二車線道路にするという事で問題になったばかりなの、今度は駐車場である。しかもその場所は、一ノ瀬三平橋を渡った上の部分で、また大きな自然破壊をもくろんでいるわけだ。

★2月12日、環境庁に宇野計画課長を訪ね、この問題を正すと、群馬県から申請があれば公営施設費として予算補助するということであり、当日東京新聞朝刊に報道されたとおり、環境庁宇野課長は、多少の自然破壊は見えて見ぬふりをするつもりよりだ。ただ一つ、尾瀬の全体計画については会の意見も十分聞いて策定していきたいとの由でもあ

るので、一応期待しておきたい。（参加者、内海、岸、松田、武、青木の五人）

★2月26日、群馬県庁を訪問（岸、青木）、観光課、秘書課、社会党角田議員、自民党久保田議員、議会事務局等をまわり、この28日から始まる県議会における駐車場予算をストップさせるため訴えた。だが、県議会を十分に信頼できるところまでは行かなかつた。状況は極めて悪い。

★なお、群馬県からは2月5日に「尾瀬を中心とする自然保護とその周辺の開発についての要望書」を携えた護情団が環境庁を訪問している。その陳情の内容には、駐車場計画も含まれていた疑いが濃い。つまりそのとき、環境庁は群馬県に内話を与えたに違いないのだ。この秘密裡に事が運ばれていくことに激しい怒りを感じる。民主政治を日ごと裏切っていく行政官僚の姿のみが目について仕方ない。

★2月8日、「日本の自然を考える夕べ」が東京、大阪、札幌、新潟の四ヶ所で開催された。

東京では朝日講堂で、大雪山縦貫自動車道路、妙高ハイランドウェー、連絡スカイラインそして尾瀬の自動車路（岸好人氏報告）の現地報告があった。会場には六百余人が集まり、わが国の自然を守るため、さらに住民運動を拡大してゆく決意を強めた。

★2月17・18日、自然保護講座が八王子大学セミナーハウスで日本自然保護協会主催で開催された。約80名出席。塚本康民氏から志布志湾の住民運動が報告されるなど、自然保護運動の脱皮が模索された。

★三月予定の第二回尾瀬のつどいは、講師木原啓吉氏の都合により四月に延期します。

★今回のニュースは、行動、行幸の羅列に終わっていませんが、尾瀬の状況はむずかしい段階に入っています。奮起を！